

2022年 2月7日

## ライブの運営について

東放学園 音響専門学校

音響芸術科

2-I 松田杏

2-I 八戸彩寧

### 目次

- 1.研究動機
- 2.ライブに携わるスタッフについて
- 3.表周りの仕事
- 4.裏周りの仕事
- 5.最後に

#### 1.研究動機

普段足を運んでいるライブやコンサートがどのようにして運営されているか注目してみたことがあるだろうか。

当たり前にいるチケットをもぎってくれる方は、どんな仕事内容なのか、そう考えた時に何も知らないなとなり、詳しく調べてみようとなった。

この研究ではまず、運営スタッフの主な業務について説明した後、運営のスタッフだけではなく、ライブに携わる全体のスタッフについて改めて確認し、最後に運営スタッフについて調べたことを詳しくまとめていきたい。

#### 2.ライブに携わるスタッフについて

運営スタッフといっても様々な種類がある、表と裏に分かれており、お客様の接客から裏方の搬入まで様々だ。

そして、現場によってはイベンターさんやコンサートプロモーターが入り、協力する形で運営することもある。

皆さんよく目にしているスタッフというtシャツを着ている人は、大学生などのアルバイトが多かったりする。

ライブに携わるスタッフは運営だけではない。

授業で習ったものを元に、セクションを振り返っていこうと思う。

まずは制作、制作は全体を統括するセクションであり、プロデューサーとも呼ばれます。公演の企画、予算をたてスタッフをブッキングし進めていきます。イベンターと共に運営をしたり舞台監督と共に中身を作り上げるため仕事量がとても多いです。スタッフの宿泊先を抑えたり、交通の手配をするのも制作の仕事です。リハーサル場所や、会場を抑えるのも仕事の1つです。

次にイベンターとは、コンサートの会場の手配にはじまり、コンサート開催に関するさまざまな工程を担当する人のことをいう。会場内でスタッフの食事の手配をしたり、公演終了後はアーティストを含む演者の帰りを見届けたあと、スタッフの作業が終了するまでサポートを続ける。会場との橋渡し役、外回りの運営なども行う。

最後に運営だ。運営はコンサートに行って1番目につく人たちだ。外回りの運営、物販、ケータリング、搬入搬出など、コンサートを行うにあたって軸になる部分を支えるお仕事だ。学生のアルバイトが多く、搬入搬出の時は一列になって待機するのがかわいい。

主にこの3つのセクションがライブの運営を行う。

次にライブを作るテクニカルスタッフだ。まずは舞台監督コンサートやイベントを開催するときに、美術や照明、音響など多くのスタッフをとりまとめ、舞台を成功に導く仕事だ。

#### 特効

さまざまな仕掛けや装置、材料を使って、照明、音響、美術などでは作れない現象を視覚化する仕事だ。

#### 映像

コンサートやイベント会場で使用する映像のプランニングから、映像送出機材の設営、実際のオペレーションなどを担当する仕事だ。

#### 音響

アーティストが理想とする音を出すために、適切な機材やスピーカーの配置を考えたり、アーティストが出す音を整えていく仕事だ。

### 楽器

コンサートツアーやライブに出演するアーティストが使う楽器の運搬や、セッティング、調整などを行う仕事だ。

### レーザー

照明演出の一つだ。

細い線状の照明が特徴的でとてもかっこいい空間演出である。

### 照明

照明コンサートのステージ上で照明装置を用い、さまざまな視覚効果を作りながら、アーティストと一緒に魅力的な舞台を作る仕事だ。

### 大道具

コンサート会場におけるステージ機材の設置、撤去を行う仕事

又、コンサートの舞台装置などを舞台監督や演出家の意向を汲んでデザインする仕事だ。

以上が主なテクニカルスタッフになる。

他にもライブ全体の電力を担う電源というセクションだったり、運搬業務を行うトランスポートなどのセクションがある。

ライブはこうして多くのスタッフによって作り上げられている。

## 3.表周りの仕事

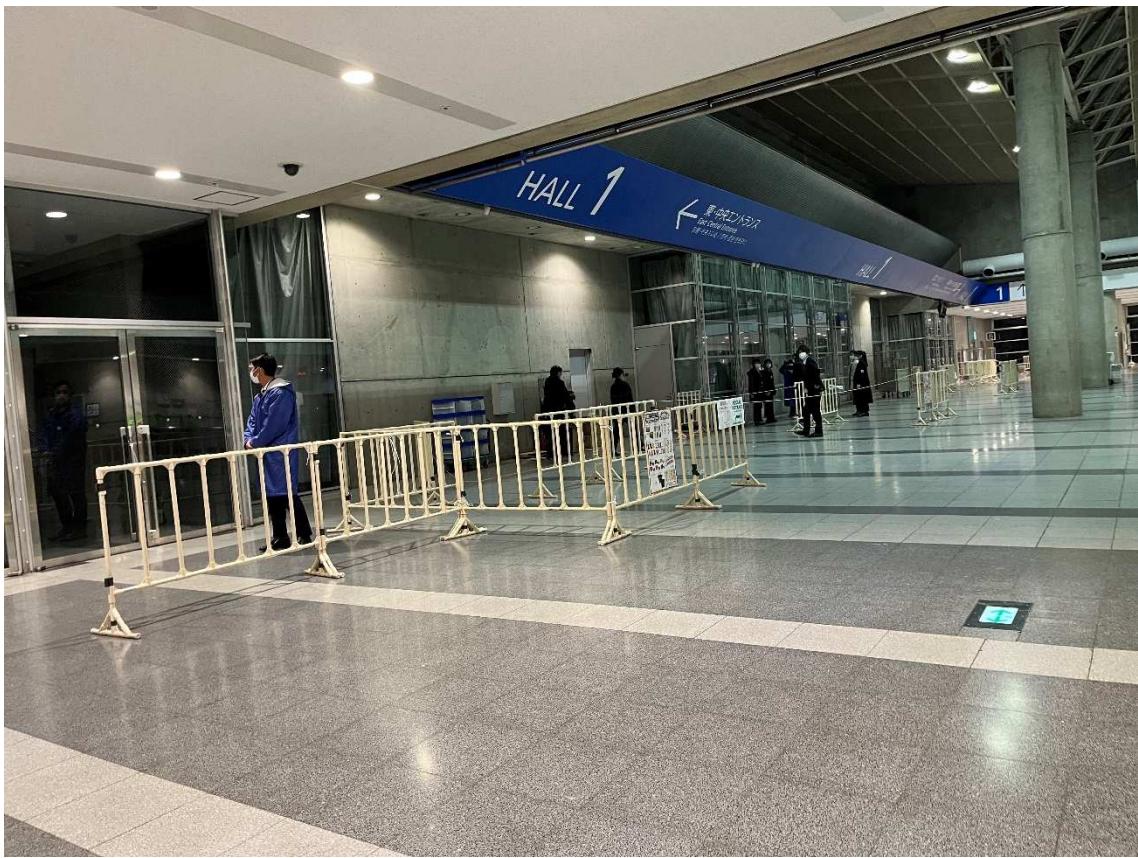
振り返ったところで、運営業務について細かく見ていくと思う。

運営業務は、表周りの仕事と裏周りの仕事で分かれている。表周りとは、お客様がいる空間のことを示しており、裏周りはスタッフがいる舞台裏の空間のことを示している。

表周りの仕事は主にチケットをもぎったり、グッズの販売をしたり、誘導や案内などだ。

大体公演がはじまる 1 時間前に開場となる為、それを逆算してグッズの販売時間を決めたり、スムーズに案内する為に声を出して誘導をする。

よく、会場にいくと柵が立っていたりするが、運営の人やイベントナーさんが列をどうするかなど事前に話し合ったり、電源車の位置を制作と打ち合わせをして決めたりする。



会場によってはここにものを置いてはいけない、ここは台車を使ってはいけないと会場側に言われたりする。

全体を見なければならない制作の代わりにお客様に対しての運営を行なっているのが表周りの業務の方だ。

小さい現場の時は、大学生が回していることもある。

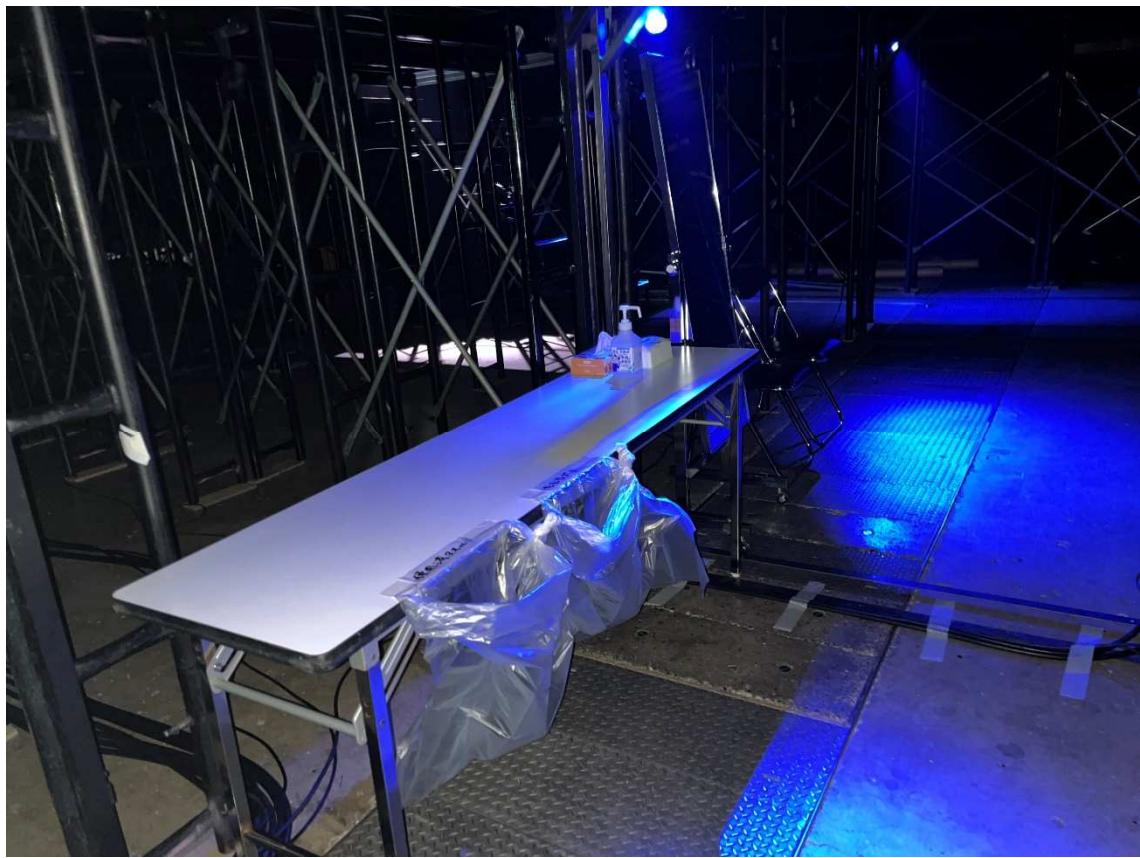
#### 4.裏周りの仕事について

こちらは主に4つ役割がある。

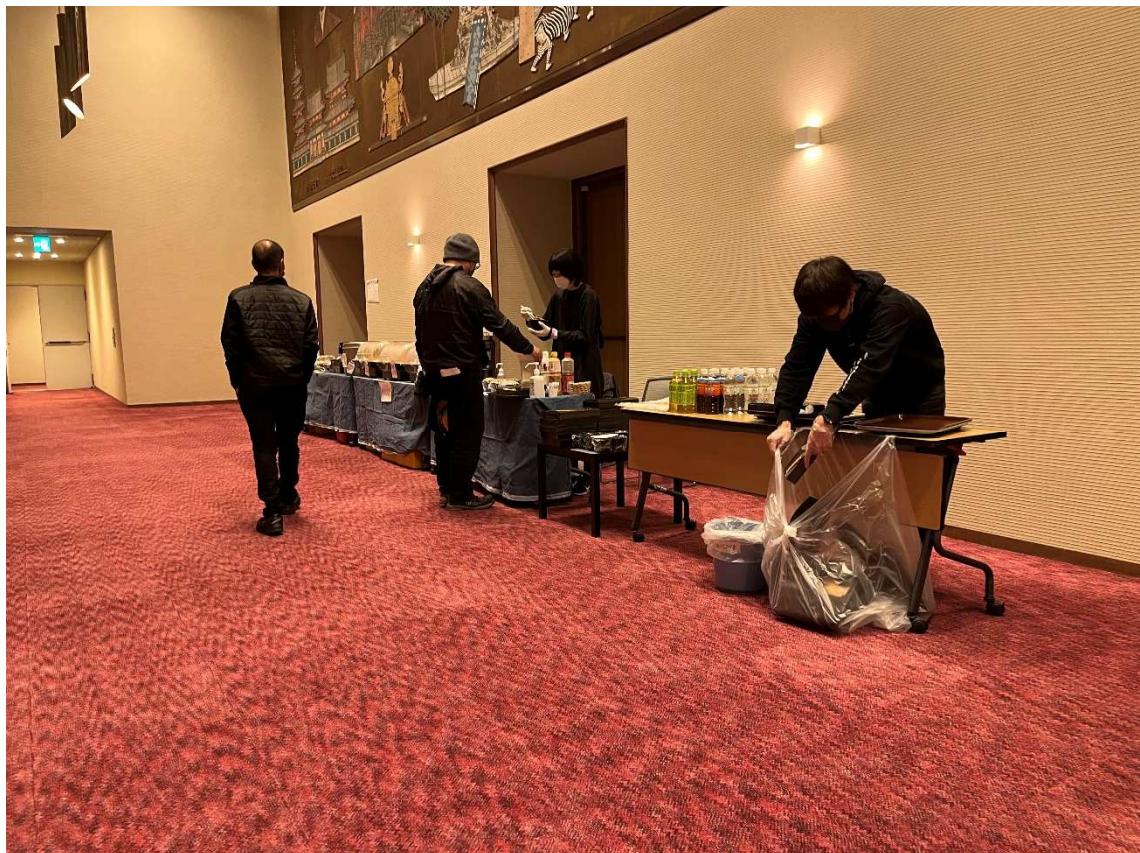
一つ目はケータリング業務である。

ケータリングとは、演者さんの楽屋を作ったり、スタッフのお弁当の管理や、ステージドリンクの用意、影アナを読んだりする。

以下、ステージドリンクをセットした写真と、スタッフのお弁当を並べた写真である。



現場によっては1人で回さないといけないことも多く、割と大変なお仕事だ。アルバイトの学生さんから仕事としてケータリングをしている方がおり、様々な層の人が働いている。お弁当も現場によってはホットミールと言って暖かいご飯を用意することもあり、スタッフや演者の方にご飯をよそってあげたりもする。



他にもケータリングと共に裏のスタッフ達を支えてくれるランナーという役割もある。ランナーは主に現場に入ってからの買い出しなどを行う。現場によって備品が足りなかったり、急遽必要になるものも多い為、車を出して買いに行く。そのため、免許を所持しており、大体大型車によって買い出しに行くため、大型車が運転できる人しかこの位置になることはできない。

次に楽屋受付、通称楽受け（がくうけ）だ。楽屋の入り口にて、入館リストにチェックをしてパスなどをスタッフの方に渡したりする。コロナの影響を受け、スタッフの検温と消毒も、楽受けの仕事となっている。また演者さんがいらっしゃった際にインカムなどを飛ばしてくれるのも楽受けのスタッフである。お弁当の配達が来た時も教えてくれる。

他にも車のキーを預かったりと入口の管理をする。

外で待機することも多い為、夏場の待機時間はいつも苦しそうである。

最後に搬入搬出の仕事だ。

文字通り、搬入搬出を手伝うお仕事である。

搬入が始まると共に現れ、搬入が終わると一度終了する。搬出が始まるタイミングで再び現れて、搬出のお仕事を手伝う。

搬入搬出は重い荷物を取り扱う力仕事の為、男性のアルバイトしか取っておらず、他のセクションのバイトの子に比べると時給が少し高かったりする。

そして印象的なのは、割と年齢層が高いことである。

よく現場でバイトくん手伝ってという声が聞こえてくるのだが、明らかに年下の人が言っていると不思議な気持ちになる。

以上が裏周りの運営内容だ。

運営のアルバイトといっても様々な種類があるのだ。

## 5.最後に

コンサートの仕事といっても本当に様々な仕事がある。

色んな人が裏で動いていることがわかり、改めて凄いなど今回調べていて思った。

私も実際にケータリングでアルバイトをしていたときは、主に大学生達が表周りを回していたりしていて

みんなとてもかっこよかった。

本当に若い層が、現場で活躍しており、自分も頑張らないとなといつも鼓舞される。

そのまま運営会社に就職して制作のお仕事をしてる人もいるそうだ。

コンサート業界に入る 1 番近い近道だと思うので、一度皆さんもアルバイトしてみてはいかがだろうか。